

【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 有価証券届出書の訂正届出書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長殿 |
| 【提出日】 | 平成22年7月22日提出 |
| 【発行者名】 | 野村アセットマネジメント株式会社 |
| 【代表者の役職氏名】 | 執行役社長 吉川 淳 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区日本橋一丁目12番1号 |
| 【事務連絡者氏名】 | 松井 秀仁 連絡場所 東京都中央区日本橋一丁目12番1号 |
| 【電話番号】 | 03-3241-9511 |
| 【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 | リサーチ・アクティブ・オープン(確定拠出年金向け) |
| 【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】 | 継続募集額(平成22年1月22日から平成23年1月26日まで) 2,000億円を上限とします。 *なお、継続申込期間(以下「申込期間」といいます。)は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。 |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項はありません。 |

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出いたしましたので、平成22年1月21日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報により訂正するため、また「第二部 ファンド情報」、「第三部 ファンドの詳細情報」および「第四部 特別情報」に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

（前略）

<商品分類>

（前略）

社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（平成21年9月16日現在）

<商品分類表定義>

（前略）

[投資対象資産(収益の源泉)による区分]

(1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(3) 不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(4) その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な組入資産そのものの名称記載も可とする。

(5) 資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[独立した区分]

（以下略）

<訂正後>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

（前略）

<商品分類>

（前略）

社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区

分は以下の通りです。（平成22年7月1日現在）

< 商品分類表定義 >

（前略）

[投資対象資産(収益の源泉)による区分]

- (1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4) その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5) 資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[独立した区分]

（以下略）

< 訂正前 >

(2) ファンドの仕組み

（前略）

委託会社の概況

委託会社

（前略）

・ 資本金の額

平成21年12月末現在、17,180百万円

・ 会社の沿革

（中略）

・ 大株主の状況(平成21年12月末現在)

（以下略）

< 訂正後 >

(2) ファンドの仕組み

（前略）

委託会社の概況

委託会社

（前略）

・ 資本金の額

平成22年6月末現在、17,180百万円

・ 会社の沿革

（中略）

・ 大株主の状況(平成22年6月末現在)

（以下略）

2 投資方針

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(3) 運用体制

(前略)

ファンドの運用体制等は平成22年1月21日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

(3) 運用体制

(前略)

ファンドの運用体制等は平成22年7月22日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3 投資リスク

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

委託会社におけるリスクマネジメント体制

(前略)

投資リスクに関する管理体制等は平成22年1月21日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

委託会社におけるリスクマネジメント体制

(前略)

投資リスクに関する管理体制等は平成22年7月22日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

5 運用状況

原届出書の 第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

以下は平成22年5月31日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)投資状況

| 資産の種類 | 国/地域 | 時価合計(円) | 投資比率(%) |
|----------|------|---------------|---------|
| 投資信託受益証券 | 日本 | 1,942,473,951 | 99.56 |

| | | | |
|---------------------|--|---------------|--------|
| 現金・預金・その他の資産(負債控除後) | | 8,537,872 | 0.43 |
| 合計(純資産総額) | | 1,951,011,823 | 100.00 |

<ご参考>

「リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド」

| 資産の種類 | 国/地域 | 時価合計(円) | 投資比率(%) |
|---------------------|------|----------------|---------|
| 株式 | 日本 | 22,033,466,800 | 97.94 |
| 現金・預金・その他の資産(負債控除後) | | 463,377,310 | 2.05 |
| 合計(純資産総額) | | 22,496,844,110 | 100.00 |

(2)投資資産

投資有価証券の主要銘柄

| 順位 | 国/地域 | 種類 | 銘柄名 | 数量 | 簿価 | 簿価 | 評価 | 評価 | 投資 |
|----|------|--------------|----------------------------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|-------|
| | | | | | 単価 | 金額 | 単価 | 金額 | |
| | | | | | (円) | (円) | (円) | (円) | (%) |
| 1 | 日本 | 投資信託 受益証券 | リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド | 2,424,455,756 | 0.8089 | 1,961,258,895 | 0.8012 | 1,942,473,951 | 99.56 |

<ご参考>

「リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド」

| 順位 | 国/地域 | 種類 | 銘柄名 | 業種 | 数量 | 簿価 | 簿価 | 評価 | 評価 | 投資 |
|----|------|----|--------------|--------|---------|------------|---------------|------------|---------------|------|
| | | | | | | 単価 | 金額 | 単価 | 金額 | |
| | | | | | (円) | (円) | (円) | (円) | (%) | |
| 1 | 日本 | 株式 | ファナック | 電気機器 | 134,000 | 8,289.23 | 1,110,757,526 | 9,610.00 | 1,287,740,000 | 5.72 |
| 2 | 日本 | 株式 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 330,000 | 3,654.96 | 1,206,139,568 | 3,280.00 | 1,082,400,000 | 4.81 |
| 3 | 日本 | 株式 | 本田技研工業 | 輸送用機器 | 348,000 | 2,977.88 | 1,036,303,774 | 2,770.00 | 963,960,000 | 4.28 |
| 4 | 日本 | 株式 | キーエンス | 電気機器 | 45,500 | 18,354.09 | 835,111,388 | 20,440.00 | 930,020,000 | 4.13 |
| 5 | 日本 | 株式 | 三井物産 | 卸売業 | 700,000 | 1,238.59 | 867,013,000 | 1,294.00 | 905,800,000 | 4.02 |
| 6 | 日本 | 株式 | ソニー | 電気機器 | 305,000 | 3,103.40 | 946,538,143 | 2,816.00 | 858,880,000 | 3.81 |
| 7 | 日本 | 株式 | ダイキン工業 | 機械 | 281,000 | 3,174.63 | 892,072,661 | 3,000.00 | 843,000,000 | 3.74 |
| 8 | 日本 | 株式 | ユニ・チャーム | 化学 | 85,000 | 8,668.43 | 736,816,652 | 9,200.00 | 782,000,000 | 3.47 |
| 9 | 日本 | 株式 | 三菱商事 | 卸売業 | 380,000 | 2,027.50 | 770,450,000 | 2,052.00 | 779,760,000 | 3.46 |
| 10 | 日本 | 株式 | エヌ・ティ・ティ・ドコモ | 情報・通信業 | 5,300 | 133,227.08 | 706,103,548 | 135,300.00 | 717,090,000 | 3.18 |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-------------------|--------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|------|
| 11 | 日本 | 株式 | 信越化学工業 | 化学 | 154,000 | 4,890.00 | 753,060,000 | 4,580.00 | 705,320,000 | 3.13 |
| 12 | 日本 | 株式 | 東日本旅客鉄道 | 陸運業 | 102,000 | 5,829.99 | 594,658,980 | 5,880.00 | 599,760,000 | 2.66 |
| 13 | 日本 | 株式 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 1,300,000 | 489.31 | 636,112,387 | 441.00 | 573,300,000 | 2.54 |
| 14 | 日本 | 株式 | 住友電気工業 | 非鉄金属 | 525,000 | 1,118.53 | 587,229,345 | 1,075.00 | 564,375,000 | 2.50 |
| 15 | 日本 | 株式 | 三菱電機 | 電気機器 | 700,000 | 719.89 | 503,923,080 | 747.00 | 522,900,000 | 2.32 |
| 16 | 日本 | 株式 | 任天堂 | その他製品 | 18,800 | 24,376.32 | 458,274,866 | 26,880.00 | 505,344,000 | 2.24 |
| 17 | 日本 | 株式 | 楽天 | サービス業 | 7,800 | 63,702.79 | 496,881,796 | 63,500.00 | 495,300,000 | 2.20 |
| 18 | 日本 | 株式 | オリックス | その他金融業 | 68,000 | 7,328.60 | 498,345,260 | 6,940.00 | 471,920,000 | 2.09 |
| 19 | 日本 | 株式 | 三菱瓦斯化学 | 化学 | 880,000 | 499.35 | 439,430,160 | 496.00 | 436,480,000 | 1.94 |
| 20 | 日本 | 株式 | セコム | サービス業 | 111,000 | 4,241.23 | 470,776,852 | 3,900.00 | 432,900,000 | 1.92 |
| 21 | 日本 | 株式 | デンソー | 輸送用機器 | 175,000 | 2,563.33 | 448,583,178 | 2,455.00 | 429,625,000 | 1.90 |
| 22 | 日本 | 株式 | 小松製作所 | 機械 | 245,200 | 1,826.60 | 447,882,811 | 1,709.00 | 419,046,800 | 1.86 |
| 23 | 日本 | 株式 | リコー | 電気機器 | 310,000 | 1,283.48 | 397,879,296 | 1,303.00 | 403,930,000 | 1.79 |
| 24 | 日本 | 株式 | テルモ | 精密機器 | 90,000 | 4,606.08 | 414,547,785 | 4,335.00 | 390,150,000 | 1.73 |
| 25 | 日本 | 株式 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 100,000 | 3,653.24 | 365,324,000 | 3,795.00 | 379,500,000 | 1.68 |
| 26 | 日本 | 株式 | 住友不動産 | 不動産業 | 225,000 | 1,770.00 | 398,250,000 | 1,626.00 | 365,850,000 | 1.62 |
| 27 | 日本 | 株式 | クボタ | 機械 | 482,000 | 719.00 | 346,558,000 | 749.00 | 361,018,000 | 1.60 |
| 28 | 日本 | 株式 | 住友金属鉱山 | 非鉄金属 | 270,000 | 1,427.70 | 385,481,163 | 1,295.00 | 349,650,000 | 1.55 |
| 29 | 日本 | 株式 | リンナイ | 金属製品 | 74,000 | 4,075.42 | 301,581,433 | 4,545.00 | 336,330,000 | 1.49 |
| 30 | 日本 | 株式 | 大陽日酸 | 化学 | 444,000 | 800.68 | 355,503,749 | 717.00 | 318,348,000 | 1.41 |

種類別及び業種別投資比率

| 種類 | 業種 | 投資比率(%) |
|----------|----|---------|
| 投資信託受益証券 | | 99.56 |

| | |
|----|-------|
| 合計 | 99.56 |
|----|-------|

<ご参考>

「リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド」

| 種類 | 業種 | 投資比率(%) |
|-------|--------|---------|
| 株式 | 化学 | 12.11 |
| | 医薬品 | 4.41 |
| | ゴム製品 | 0.78 |
| | 鉄鋼 | 1.14 |
| | 非鉄金属 | 4.06 |
| | 金属製品 | 1.49 |
| | 機械 | 8.71 |
| | 電気機器 | 19.66 |
| | 輸送用機器 | 12.72 |
| | 精密機器 | 1.73 |
| | その他製品 | 2.24 |
| | 陸運業 | 3.43 |
| | 情報・通信業 | 5.17 |
| | 卸売業 | 7.49 |
| | 小売業 | 1.09 |
| | 銀行業 | 3.79 |
| | その他金融業 | 2.09 |
| 不動産業 | 1.62 | |
| サービス業 | 4.12 | |
| | 小計 | 97.94 |
| 合計 | | 97.94 |

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3)運用実績

純資産の推移

平成22年5月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

| 計算期間 | 純資産総額(百万円) | | 1口当たり純資産額(円) | |
|-------------------|------------|-------|--------------|--------|
| | (分配落) | (分配付) | (分配落) | (分配付) |
| 第1期 (2002年10月30日) | 21 | 21 | 0.841 | 0.841 |
| 第2期 (2003年10月30日) | 203 | 203 | 0.9145 | 0.9145 |
| 第3期 (2004年11月1日) | 475 | 475 | 0.8919 | 0.8919 |
| 第4期 (2005年10月31日) | 1,116 | 1,123 | 1.1772 | 1.1842 |
| 第5期 (2006年10月30日) | 2,036 | 2,049 | 1.3193 | 1.3283 |
| 第6期 (2007年10月30日) | 2,220 | 2,221 | 1.3732 | 1.3737 |
| 第7期 (2008年10月30日) | 1,368 | 1,368 | 0.7589 | 0.7589 |
| 第8期 (2009年10月30日) | 1,781 | 1,781 | 0.8044 | 0.8044 |
| 2009年5月末日 | 1,558 | | 0.7742 | |
| 6月末日 | 1,659 | | 0.7837 | |
| 7月末日 | 1,784 | | 0.8250 | |
| 8月末日 | 1,846 | | 0.8412 | |
| 9月末日 | 1,806 | | 0.8199 | |
| 10月末日 | 1,781 | | 0.8044 | |
| 11月末日 | 1,733 | | 0.7736 | |
| 12月末日 | 1,900 | | 0.8441 | |
| 2010年1月末日 | 1,903 | | 0.8319 | |
| 2月末日 | 1,904 | | 0.8210 | |
| 3月末日 | 2,138 | | 0.9012 | |
| 4月末日 | 2,159 | | 0.8956 | |
| 5月末日 | 1,951 | | 0.7972 | |

分配の推移

| 期 | 1口当たりの分配金 |
|-----|-----------|
| 第1期 | 0.0000 円 |
| 第2期 | 0.0000 円 |
| 第3期 | 0.0000 円 |
| 第4期 | 0.0070 円 |
| 第5期 | 0.0090 円 |
| 第6期 | 0.0005 円 |
| 第7期 | 0.0000 円 |
| 第8期 | 0.0000 円 |

収益率の推移

| 期 | 収益率 |
|----------|--------|
| 第1期 | 15.9 % |
| 第2期 | 8.7 % |
| 第3期 | 2.5 % |
| 第4期 | 32.8 % |
| 第5期 | 12.8 % |
| 第6期 | 4.1 % |
| 第7期 | 44.7 % |
| 第8期 | 6.0 % |
| 第9期(中間期) | 11.3 % |

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

第2【財務ハイライト情報】

原届出書の 第二部 ファンド情報 第2 財務ハイライト情報 の該当部分を以下のように訂正するとともに、末尾に添付のように「中間財務諸表」が追加されます。

下線部 _____ は訂正部分を示します。

<訂正前>

以下の情報は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」から抜粋して記載したものです。

ファンドの「財務諸表」については、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

また、当該監査法人による監査報告書は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」に添付されています。

<訂正後>

以下の情報は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」および「中間財務諸表」から抜粋して記載したものです。

ファンドの「財務諸表」および「中間財務諸表」については、新日本有限責任監査法人による監査および中間監査を受けております。

また、当該監査法人による監査報告書および中間監査報告書は、「第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況」に記載されている「財務諸表」および「中間財務諸表」に添付されています。

< 中間財務諸表 >

1 中間貸借対照表

| 期別 | 第8期中間計算期間末 平成21年 4 月30日現在 | 第9期中間計算期間末 平成22年 4 月30日現在 |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|
| 科目 | 金額(円) | 金額(円) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | 16,014,833 | 20,979,584 |
| 親投資信託受益証券 | 1,407,576,045 | 2,149,277,144 |
| 未収利息 | 67 | 62 |
| 流動資産合計 | 1,423,590,945 | 2,170,256,790 |
| 資産合計 | 1,423,590,945 | 2,170,256,790 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払解約金 | 1,589,278 | 271,717 |
| 未払受託者報酬 | 666,027 | 1,009,102 |
| 未払委託者報酬 | 6,127,346 | 9,283,657 |
| その他未払費用 | 19,921 | 30,213 |
| 流動負債合計 | 8,402,572 | 10,594,689 |
| 負債合計 | 8,402,572 | 10,594,689 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1,977,597,137 | 2,411,531,966 |
| 剰余金 | | |
| 中間剰余金又は中間欠損金() | 562,408,764 | 251,869,865 |
| (分配準備積立金) | 159,448,674 | 162,742,434 |
| 元本等合計 | 1,415,188,373 | 2,159,662,101 |
| 純資産合計 | 1,415,188,373 | 2,159,662,101 |
| 負債純資産合計 | 1,423,590,945 | 2,170,256,790 |

2 中間損益及び剰余金計算書

| 期別 | 第8期中間計算期間 自 平成20年10月31日 至 平成21年 4 月30日 | 第9期中間計算期間 自 平成21年10月31日 至 平成22年 4 月30日 |
|-----------------------------|--|--|
| 科目 | 金額(円) | 金額(円) |
| 営業収益 | | |
| 受取利息 | 9,626 | 6,330 |
| 有価証券売買等損益 | 61,985,825 | 218,324,630 |
| 営業収益合計 | 61,976,199 | 218,330,960 |
| 営業費用 | | |
| 受託者報酬 | 666,027 | 1,009,102 |
| 委託者報酬 | 6,127,346 | 9,283,657 |
| その他費用 | 19,921 | 30,213 |
| 営業費用合計 | 6,813,294 | 10,322,972 |
| 営業利益 | 68,789,493 | 208,007,988 |
| 経常利益 | 68,789,493 | 208,007,988 |
| 中間純利益 | 68,789,493 | 208,007,988 |
| 一部解約に伴う中間純利益金額の分配額 | 18,241,770 | 5,606,879 |
| 期首剰余金又は期首欠損金() | 434,866,236 | 433,235,326 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 65,462,720 | 33,334,998 |
| 中間一部解約に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額 | 65,462,720 | 33,334,998 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 142,457,525 | 54,370,646 |
| 中間追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額 | 142,457,525 | 54,370,646 |
| 分配金 | | |
| 中間剰余金又は中間欠損金() | 562,408,764 | 251,869,865 |

< 中間注記表 >

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | 第8期中間計算期間 自 平成20年10月31日 至 平成21年 4 月30日 | 第9期中間計算期間 自 平成21年10月31日 至 平成22年 4 月30日 |
|-------------------|--|---|
| 1 運用資産の評価基準及び評価方法 | (1) 親投資信託受益証券基準価額で評価しております。 | (1) 親投資信託受益証券同左 |
| 2 費用・収益の計上基準 | (1) 有価証券売買等損益の計上基準約定日基準で計上しております。 | (1) 有価証券売買等損益の計上基準同左 |
| 3 その他 | 当ファンドの計算期間は、平成20年10月31日から平成21年 10 月30日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成20年10月31日から平成21年 4 月30日までとなっております。 | 当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成21年10月31日から平成22年11月 1 日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成21年10月31日から平成22年 4 月30日までとなっております。 |

第三部【ファンドの詳細情報】**第4【ファンドの経理状況】**

1 財務諸表

原届出書の 第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況 1 財務諸表 につきましては、以下の「中間財務諸表」が追加されます。

< 中間財務諸表 >

リサーチ・アクティブ・オープン(確定拠出年金向け)

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)(以下「中間財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第8期中間計算期間(平成20年10月31日から平成21年 4 月30日まで)および第9期中間計算期間(平成21年10月31日から平成22年 4 月30日まで)については内閣府令第50号附則第4条第1項第1号により、改正前の中間財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第8期中間計算期間(平成20年10月31日から平成21年 4 月30日まで)および第9期中間計算期間(平成21年10月31日から平成22年 4 月30日まで)の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

| | 第8期中間計算期間末 平成21年 4月30日現在 | 第9期中間計算期間末 平成22年 4月30日現在 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | 16,014,833 | 20,979,584 |
| 親投資信託受益証券 | 1,407,576,045 | 2,149,277,144 |
| 未収利息 | 67 | 62 |
| 流動資産合計 | 1,423,590,945 | 2,170,256,790 |
| 資産合計 | 1,423,590,945 | 2,170,256,790 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払解約金 | 1,589,278 | 271,717 |
| 未払受託者報酬 | 666,027 | 1,009,102 |
| 未払委託者報酬 | 6,127,346 | 9,283,657 |
| その他未払費用 | 19,921 | 30,213 |
| 流動負債合計 | 8,402,572 | 10,594,689 |
| 負債合計 | 8,402,572 | 10,594,689 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1,977,597,137 | 2,411,531,966 |
| 剰余金 | | |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ） | 562,408,764 | 251,869,865 |
| （分配準備積立金） | 159,448,674 | 162,742,434 |
| 元本等合計 | 1,415,188,373 | 2,159,662,101 |
| 純資産合計 | 1,415,188,373 | 2,159,662,101 |
| 負債純資産合計 | 1,423,590,945 | 2,170,256,790 |

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

| | 第8期中間計算期間 自平成20年10月31日 至平成21年4月30日 | 第9期中間計算期間 自平成21年10月31日 至平成22年4月30日 |
|-------------------------|--|--|
| 営業収益 | | |
| 受取利息 | 9,626 | 6,330 |
| 有価証券売買等損益 | 61,985,825 | 218,324,630 |
| 営業収益合計 | 61,976,199 | 218,330,960 |
| 営業費用 | | |
| 受託者報酬 | 666,027 | 1,009,102 |
| 委託者報酬 | 6,127,346 | 9,283,657 |
| その他費用 | 19,921 | 30,213 |
| 営業費用合計 | 6,813,294 | 10,322,972 |
| 営業利益 | 68,789,493 | 208,007,988 |
| 経常利益 | 68,789,493 | 208,007,988 |
| 中間純利益 | 68,789,493 | 208,007,988 |
| 一部解約に伴う中間純利益金額の分配額 | 18,241,770 | 5,606,879 |
| 期首剰余金又は期首欠損金（ ） | 434,866,236 | 433,235,326 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | 65,462,720 | 33,334,998 |
| 中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | 65,462,720 | 33,334,998 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | 142,457,525 | 54,370,646 |
| 中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | 142,457,525 | 54,370,646 |
| 分配金 | - | - |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ） | 562,408,764 | 251,869,865 |

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | 第8期中間計算期間 自平成20年10月31日 至平成21年4月30日 | 第9期中間計算期間 自平成21年10月31日 至平成22年4月30日 |
|-------------------|--|---|
| 1 運用資産の評価基準及び評価方法 | (1) 親投資信託受益証券基準価額で評価しております。 | (1) 親投資信託受益証券同左 |
| 2 費用・収益の計上基準 | (1) 有価証券売買等損益の計上基準約定日基準で計上しております。 | (1) 有価証券売買等損益の計上基準同左 |
| 3 その他 | 当ファンドの計算期間は、平成20年10月31日から平成21年10月30日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成20年10月31日から平成21年4月30日までとなっております。 | 当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成21年10月31日から平成22年11月1日までとなっております。 なお、当該中間計算期間は、平成21年10月31日から平成22年4月30日までとなっております。 |

(中間貸借対照表に関する注記)

| 第8期中間計算期間末 平成21年4月30日現在 | 第9期中間計算期間末 平成22年4月30日現在 |
|---|---|
| 1 中間計算期間の末日における受益権の総数 1,977,597,137 口 | 1 中間計算期間の末日における受益権の総数 2,411,531,966 口 |
| 2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 562,408,764 円 | 2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 251,869,865 円 |
| 3 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.7156 円 (10,000口当たり純資産額 7,156 円) | 3 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.8956 円 (10,000口当たり純資産額 8,956 円) |

(その他の注記)

1 元本の移動

| 第8期中間計算期間 自平成20年10月31日 至平成21年4月30日 | 第9期中間計算期間 自平成21年10月31日 至平成22年4月30日 |
|--|--|
| 期首元本額 1,803,316,988 円 | 期首元本額 2,214,491,533 円 |
| 期中追加設定元本額 435,503,457 円 | 期中追加設定元本額 368,818,361 円 |
| 期中一部解約元本額 261,223,308 円 | 期中一部解約元本額 171,777,928 円 |

2 売買目的有価証券の中間貸借対照表計上額等

第8期中間計算期間(自平成20年10月31日 至平成21年4月30日)

該当事項はございません。

第9期中間計算期間(自平成21年10月31日 至平成22年4月30日)

該当事項はございません。

3 デリバティブ取引関係

第8期中間計算期間末(平成21年4月30日現在)

該当事項はございません。

第9期中間計算期間末(平成22年4月30日現在)

該当事項はございません。

参考

リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド

当ファンドは「リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

尚、同親投資信託の状況は次の通りです。

- 1 「リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド」の状況
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

(1)貸借対照表

| 科目 | 対象年月日 | 平成22年 4 月30日現在 金額(円) |
|-----------------|-------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| コール・ローン | | 342,553,472 |
| 株式 | | 24,924,613,200 |
| 未収入金 | | 375,567,468 |
| 未収配当金 | | 203,064,344 |
| 未収利息 | | 1,026 |
| 流動資産合計 | | 25,845,799,510 |
| 資産合計 | | |
| | | 25,845,799,510 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | | 131,057,492 |
| 未払解約金 | | 165,487,444 |
| 流動負債合計 | | 296,544,936 |
| 負債合計 | | |
| | | 296,544,936 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | | 28,398,175,503 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | | 2,848,920,929 |
| 元本等合計 | | 25,549,254,574 |
| 純資産合計 | | |
| | | 25,549,254,574 |
| 負債純資産合計 | | |
| | | 25,845,799,510 |

(2)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | 自 平成21年10月31日 至 平成22年 4 月30日 |
|-------------------|---|
| 1 運用資産の評価基準及び評価方法 | (1) 株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価額のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 |
| 2 費用・収益の計上基準 | (1) 受取配当金の計上基準 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。 |

(その他の注記)

| | 平成22年 4 月30日現在 | 平成21年10月31日 |
|--|----------------|------------------|
| 1 期首 | | |
| 期首元本額 | | 28,203,460,241 円 |
| 期首より平成22年 4 月30日までの期中追加設定元本額 | | 4,008,153,246 円 |
| 期首より平成22年 4 月30日までの期中一部解約元本額 | | 3,813,437,984 円 |
| 期末元本額 | | 28,398,175,503 円 |
| 期末元本額の内訳* | | |
| リサーチ・アクティブ・オープン | | 8,478,820,444 円 |
| リサーチ・アクティブ・オープン(野村SMA向け) | | 688,691,920 円 |
| リサーチ・アクティブ・オープンF(適格機関投資家専用) | | 15,797,675,038 円 |
| リサーチ・アクティブ・オープン(変額年金保険向け・適格機関投資家専用) | | 1,044,106,091 円 |
| リサーチ・アクティブ・オープン(確定拠出年金向け) | | 2,388,882,010 円 |
| 2 元本の欠損の額 | | 2,848,920,929 円 |
| 3 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 | | 0.8997 円 |

(10,000口当たり純資産額

8,997 円)

*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 ファンドの現況

原届出書の 第三部 ファンドの詳細情報 第4 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

純資産額計算書

平成22年5月31日現在

| | | |
|----------------|---------------|---|
| 資産総額 | 1,953,553,018 | 円 |
| 負債総額 | 2,541,195 | 円 |
| 純資産総額(-) | 1,951,011,823 | 円 |
| 発行済口数 | 2,447,338,233 | 口 |
| 1口当たり純資産額(/) | 0.7972 | 円 |

<ご参考>

「リサーチ・アクティブ・オープン マザーファンド」

| | | |
|----------------|----------------|---|
| 資産総額 | 22,683,901,101 | 円 |
| 負債総額 | 187,056,991 | 円 |
| 純資産総額(-) | 22,496,844,110 | 円 |
| 発行済口数 | 28,078,420,651 | 口 |
| 1口当たり純資産額(/) | 0.8012 | 円 |

第5【設定及び解約の実績】

原届出書の 第三部 ファンドの詳細情報 第5 設定及び解約の実績 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

| 期 | 設定口数 | 解約口数 | 発行済み口数 |
|----------|---------------|-------------|---------------|
| 第1期 | 27,195,435 | 1,818,528 | 25,376,907 |
| 第2期 | 212,621,097 | 15,565,955 | 222,432,049 |
| 第3期 | 369,383,507 | 58,124,094 | 533,691,462 |
| 第4期 | 665,395,716 | 250,430,494 | 948,656,684 |
| 第5期 | 1,002,581,841 | 407,964,660 | 1,543,273,865 |
| 第6期 | 649,888,453 | 575,998,935 | 1,617,163,383 |
| 第7期 | 706,454,394 | 520,300,789 | 1,803,316,988 |
| 第8期 | 809,543,976 | 398,369,431 | 2,214,491,533 |
| 第9期(中間期) | 368,818,361 | 171,777,928 | 2,411,531,966 |

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

第四部【特別情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1) 資本金の額

平成21年12月末現在、17,180百万円

(以下略)

<訂正後>

(1) 資本金の額

平成22年6月末現在、17,180百万円

(以下略)

2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の 第四部 特別情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は平成22年5月31日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

| 種類 | 本数 | 純資産総額（百万円） |
|------------|-----|------------|
| 追加型株式投資信託 | 649 | 9,114,224 |
| 単体型株式投資信託 | 21 | 252,969 |
| 追加型公社債投資信託 | 19 | 4,706,882 |
| 単体型公社債投資信託 | 0 | 0 |
| 合計 | 689 | 14,074,076 |

3 委託会社等の経理状況

原届出書の 第四部 特別情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況 の該当部分を以下の内容に更新・訂正します。

<更新・訂正後>[次へ](#)**第2【その他の関係法人の概況】****1 名称、資本金の額及び事業の内容**

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1) 受託者

| (a)名称 | (b)資本金の額 [*] | (c)事業の内容 |
|---|-----------------------|--|
| 住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) | 342,037百万円 | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。 |

* 平成21年11月末現在

(2) 販売会社

| (a)名称 | (b)資本金の額 [*] | (c)事業の内容 |
|--|---|---------------------------------|
| 野村證券株式会社 | 10,000百万円 | 「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 株式会社 りそな銀行 株式会社 武蔵野銀行 株式会社 中国銀行 株式会社 山梨中央銀行 | 279,928百万円 45,743百万円 15,149百万円 15,400百万円 | 銀行法に基づき銀行業を営んでいます。 |

* 平成21年11月末現在

<訂正後>

(1) 受託者

| (a)名称 | (b)資本金の額 [*] | (c)事業の内容 |
|---|-----------------------|--|
| 住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) | 342,037百万円 | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。 |

* 平成22年5月末現在

(2) 販売会社

| (a)名称 | (b)資本金の額 [*] | (c)事業の内容 |
|--|---|---------------------------------|
| 野村證券株式会社 | 10,000百万円 | 「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 株式会社 りそな銀行 株式会社 武蔵野銀行 株式会社 中国銀行 株式会社 山梨中央銀行 | 279,928百万円 45,743百万円 15,149百万円 15,400百万円 | 銀行法に基づき銀行業を営んでいます。 |

* 平成22年5月末現在

- 1．委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
なお、財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第50期事業年度(前事業年度)は、内閣府令第50号改正前の財務諸表等規則に基づき作成しており、第51期事業年度(当事業年度)は、内閣府令第50号改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。
- 2．財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 3．委託会社の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前事業年度及び当事業年度の財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

(1) 貸借対照表

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (平成21年 3月31日) | | 当事業年度 (平成22年 3月31日) | |
|----------|----------|---------------------------|--------|---------------------------|---------|
| | | 金額(百万円) | | 金額(百万円) | |
| (資産の部) | | | | | |
| 流動資産 | | | | | |
| 現金・預金 | | | 560 | | 520 |
| 金銭の信託 | | | 34,551 | | 38,530 |
| 有価証券 | | | 3,400 | | 5,100 |
| 短期貸付金 | | | 592 | | 126 |
| 前払金 | | | 43 | | 0 |
| 前払費用 | | | 17 | | 47 |
| 未収入金 | | | 84 | | 79 |
| 未収委託者報酬 | | | 7,489 | | 9,756 |
| 未収収益 | | | 1,629 | | 2,645 |
| 未収法人税等 | | | 498 | | - |
| 繰延税金資産 | | | 879 | | 1,513 |
| その他 | | | 807 | | 143 |
| 貸倒引当金 | | | 4 | | 6 |
| 流動資産計 | | | 50,549 | | 58,457 |
| 固定資産 | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | |
| 建物 | 2 | 710 | | 635 | |
| 器具備品 | 2 | 1,472 | | 1,094 | |
| 無形固定資産 | | | | | |
| ソフトウェア | | 12,403 | | 11,836 | |
| 電話加入権 | | 2 | | 1 | |
| その他 | | 1 | | 1 | |
| 投資その他の資産 | | | | | |
| 投資有価証券 | | 10,693 | | 11,614 | |
| 関係会社株式 | | 15,743 | | 16,099 | |
| 従業員長期貸付金 | | 385 | | 366 | |
| 長期差入保証金 | | 39 | | 66 | |
| 長期前払費用 | | 19 | | 23 | |
| 繰延税金資産 | | 1,256 | | 490 | |
| その他 | | 381 | | 327 | |
| 貸倒引当金 | | 0 | | 0 | |
| 固定資産計 | | | 43,110 | | 42,557 |
| 資産合計 | | | 93,659 | | 101,014 |

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (平成21年 3月31日) | | 当事業年度 (平成22年 3月31日) | |
|-----------------|----------|------------------------|--------|------------------------|---------|
| | | 金額(百万円) | | 金額(百万円) | |
| (負債の部) | | | | | |
| 流動負債 | | | | | |
| 関係会社短期借入金 | | | 12,000 | | 11,000 |
| 預り金 | | | 95 | | 95 |
| 未払金 | 1 | | 5,750 | | 6,217 |
| 未払収益分配金 | | 5 | | 4 | |
| 未払償還金 | | 82 | | 61 | |
| 未払手数料 | | 3,275 | | 4,226 | |
| その他未払金 | | 2,387 | | 1,925 | |
| 未払費用 | 1 | | 4,849 | | 7,594 |
| 未払法人税等 | | | 4 | | 849 |
| 前受収益 | | | 6 | | 9 |
| 賞与引当金 | | | 1,080 | | 2,538 |
| その他 | | | 4 | | - |
| 流動負債計 | | | 23,790 | | 28,305 |
| 固定負債 | | | | | |
| 退職給付引当金 | | | 4,620 | | 4,576 |
| 時効後支払損引当金 | | | 462 | | 475 |
| その他 | | | 642 | | 351 |
| 固定負債計 | | | 5,724 | | 5,403 |
| 負債合計 | | | 29,515 | | 33,708 |
| (純資産の部) | | | | | |
| 株主資本 | | | | | |
| 資本金 | | | 17,180 | | 17,180 |
| 資本剰余金 | | | 11,729 | | 11,729 |
| 資本準備金 | | 11,729 | | 11,729 | |
| 利益剰余金 | | | 32,900 | | 35,164 |
| 利益準備金 | | 685 | | 685 | |
| その他利益剰余金 | | 32,215 | | 34,479 | |
| 別途積立金 | | 24,606 | | 24,606 | |
| 繰越利益剰余金 | | 7,608 | | 9,872 | |
| 評価・換算差額等 | | | 2,333 | | 3,231 |
| その他有価証券評価差額金 | | | 2,084 | | 3,056 |
| 繰延ヘッジ損益 | | | 249 | | 175 |
| 純資産合計 | | | 64,143 | | 67,306 |
| 負債・純資産合計 | | | 93,659 | | 101,014 |

(2) 損益計算書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) | |
|-----------|----------|---|--------|---|--------|
| | | 金額(百万円) | | 金額(百万円) | |
| 営業収益 | | | | | |
| 委託者報酬 | | | 84,195 | | 76,293 |
| 運用受託報酬 | | | 8,315 | | 10,576 |
| その他営業収益 | | | 27 | | 57 |
| 営業収益計 | | | 92,537 | | 86,927 |
| 営業費用 | | | | | |
| 支払手数料 | | | 39,122 | | 35,199 |
| 広告宣伝費 | | | 1,438 | | 1,155 |
| 公告費 | | | 2 | | 0 |
| 受益証券発行費 | | | 34 | | 10 |
| 調査費 | | | 21,176 | | 20,998 |
| 調査費 | | 1,643 | | 1,394 | |
| 委託調査費 | | 19,532 | | 19,603 | |
| 委託計算費 | | | 790 | | 883 |
| 営業雑経費 | | | 2,709 | | 2,493 |
| 通信費 | | 208 | | 222 | |
| 印刷費 | | 1,382 | | 1,293 | |
| 協会費 | | 87 | | 71 | |
| 諸経費 | | 1,031 | | 905 | |
| 営業費用計 | | | 65,272 | | 60,740 |
| 一般管理費 | | | | | |
| 給料 | | | 8,863 | | 9,912 |
| 役員報酬 | 2 | 329 | | 388 | |
| 給料・手当 | | 6,507 | | 6,740 | |
| 賞与 | | 2,025 | | 2,784 | |
| 交際費 | | | 168 | | 153 |
| 旅費交通費 | | | 557 | | 458 |
| 租税公課 | | | 443 | | 206 |
| 不動産賃借料 | | | 1,559 | | 1,464 |
| 退職給付費用 | | | 1,124 | | 1,116 |
| 固定資産減価償却費 | | | 3,288 | | 4,630 |
| 諸経費 | | | 6,448 | | 6,529 |
| 一般管理費計 | | | 22,452 | | 24,471 |
| 営業利益 | | | 4,812 | | 1,715 |

| | | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) | |
|---------------|----------|---|--------|---|-------|
| 区分 | 注記 番号 | 金額(百万円) | | 金額(百万円) | |
| 営業外収益 | | | | | |
| 受取配当金 | 1 | 8,013 | | 3,698 | |
| 収益分配金 | | 225 | | 6 | |
| 受取利息 | | 32 | | 5 | |
| 金銭の信託運用益 | | - | | 2,385 | |
| デリバティブ利益 | | 858 | | - | |
| 為替差益 | | - | | 45 | |
| その他 | | 192 | | 283 | |
| 営業外収益計 | | | 9,322 | | 6,424 |
| 営業外費用 | | | | | |
| 支払利息 | 1 | 175 | | 98 | |
| 金銭の信託運用損 | | 1,212 | | - | |
| 為替差損 | | 133 | | - | |
| 時効後支払損引当金繰入額 | | 97 | | 37 | |
| その他 | | 53 | | 53 | |
| 営業外費用計 | | | 1,671 | | 189 |
| 經常利益 | | | 12,463 | | 7,950 |
| 特別利益 | | | | | |
| 投資有価証券等売却益 | | 1,085 | | 72 | |
| 株式報酬受入益 | | 299 | | 226 | |
| リース資産買取差益 | | 2 | | - | |
| 特別利益計 | | | 1,387 | | 299 |
| 特別損失 | | | | | |
| 投資有価証券等売却損 | | 1,471 | | 60 | |
| 投資有価証券等評価損 | | 5 | | 70 | |
| 固定資産除却損 | 3 | 405 | | 16 | |
| 退職給付制度移行損失 | | 118 | | - | |
| システム利用契約解約違約金 | | - | | 63 | |
| 特別損失計 | | | 2,001 | | 210 |
| 税引前当期純利益 | | | 11,849 | | 8,039 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | 2,893 | | 2,662 |
| 法人税等調整額 | | | 2,334 | | 492 |
| 当期純利益 | | | 6,621 | | 5,869 |

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|----------|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 17,180 | 17,180 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 17,180 | 17,180 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 前期末残高 | 11,729 | 11,729 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 11,729 | 11,729 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 11,729 | 11,729 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 11,729 | 11,729 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | |
| 前期末残高 | 685 | 685 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 685 | 685 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | | |
| 前期末残高 | 35,606 | 24,606 |
| 当期変動額 | | |
| 別途積立金の取崩 | 11,000 | - |
| 当期変動額合計 | 11,000 | - |
| 当期末残高 | 24,606 | 24,606 |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 16,512 | 7,608 |
| 当期変動額 | | |
| 別途積立金の取崩 | 11,000 | - |
| 剰余金の配当 | 26,526 | 3,605 |
| 当期純利益 | 6,621 | 5,869 |
| 当期変動額合計 | 8,904 | 2,264 |

| | | |
|---------------------|--------|--------|
| 当期末残高 | 7,608 | 9,872 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 52,804 | 32,900 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 26,526 | 3,605 |
| 当期純利益 | 6,621 | 5,869 |
| 当期変動額合計 | 19,904 | 2,264 |
| 当期末残高 | 32,900 | 35,164 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 81,714 | 61,810 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 26,526 | 3,605 |
| 当期純利益 | 6,621 | 5,869 |
| 当期変動額合計 | 19,904 | 2,264 |
| 当期末残高 | 61,810 | 64,074 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 5,124 | 2,084 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 3,040 | 971 |
| 当期変動額合計 | 3,040 | 971 |
| 当期末残高 | 2,084 | 3,056 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 前期末残高 | 250 | 249 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 499 | 73 |
| 当期変動額合計 | 499 | 73 |
| 当期末残高 | 249 | 175 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 前期末残高 | 4,874 | 2,333 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 2,541 | 898 |
| 当期変動額合計 | 2,541 | 898 |
| 当期末残高 | 2,333 | 3,231 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 86,589 | 64,143 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | 26,526 | 3,605 |
| 当期純利益 | 6,621 | 5,869 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 2,541 | 898 |
| 当期変動額合計 | 22,445 | 3,162 |

| | | |
|-------|--------|--------|
| 当期末残高 | 64,143 | 67,306 |
|-------|--------|--------|

[重要な会計方針]

| 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------|------|-------|-----|-----|------|-------|---|----|--------|------|-------|-----|-----|------|-------|
| <p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ...移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの... 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております) 時価のないもの... 移動平均法による原価法</p> <p>2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法 時価法</p> <p>3. 金銭の信託の評価基準及び評価方法 時価法</p> <p>4. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。 主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>建物</td><td>38～50年</td></tr> <tr><td>附属設備</td><td>8～15年</td></tr> <tr><td>構築物</td><td>20年</td></tr> <tr><td>器具備品</td><td>4～15年</td></tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>5. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。</p> | 建物 | 38～50年 | 附属設備 | 8～15年 | 構築物 | 20年 | 器具備品 | 4～15年 | <p>1. 有価証券の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 (同左)</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの (同左)</p> <p>時価のないもの (同左)</p> <p>2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法 (同左)</p> <p>3. 金銭の信託の評価基準及び評価方法 (同左)</p> <p>4. 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。 主な耐用年数は以下の通りであります。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>建物</td><td>38～50年</td></tr> <tr><td>附属設備</td><td>8～15年</td></tr> <tr><td>構築物</td><td>20年</td></tr> <tr><td>器具備品</td><td>4～15年</td></tr> </table> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p> <p>5. 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 なお、破綻先に対する債権3百万円については、債権額から備忘価額を控除した額を取立不能見込額として債権額から直接減額しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 (同左)</p> | 建物 | 38～50年 | 附属設備 | 8～15年 | 構築物 | 20年 | 器具備品 | 4～15年 |
| 建物 | 38～50年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | 8～15年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構築物 | 20年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 4～15年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 38～50年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | 8～15年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構築物 | 20年 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 4～15年 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|---|---|
| <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>6. リース取引の処理方法 リース取引開始日が平成20年 4月 1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>7. ヘッジ会計 (1)ヘッジ会計の方法 ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで資産または負債として繰り延べる方法によっております。 (2)ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 - 為替予約、株価指数先物 ヘッジ対象 - 投資有価証券 (3)ヘッジ方針 投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。 (4)ヘッジ有効性評価の方法 為替変動リスク及び価格変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。</p> <p>8. 消費税等の会計処理方法 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。</p> <p>9. 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。</p> | <p>(3) 退職給付引当金 (同左)</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 (同左)</p> <p>6. リース取引の処理方法 (同左)</p> <p>7. ヘッジ会計 (1)ヘッジ会計の方法 (同左)</p> <p>(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 (同左)</p> <p>(3)ヘッジ方針 (同左)</p> <p>(4)ヘッジ有効性評価の方法 (同左)</p> <p>8. 消費税等の会計処理方法 (同左)</p> <p>9. 連結納税制度の適用 (同左)</p> |

[会計方針の変更]

| 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|---|---|
| <p>(リース取引の処理方法)</p> <p>当事業年度より、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)及び企業会計基準適用指針第16号「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)を適用しております。</p> <p>この適用により、リース取引開始日が平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理を行い、リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、企業会計基準適用指針第16号「リース取引に関する会計基準の適用指針」(平成19年3月30日 企業会計基準委員会)第79項により、リース取引開始日が平成20年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>なお、これによる財政状態に与える影響はなく、損益に与える影響は軽微であります。</p> | |
| | <p>(退職給付の処理方法)</p> <p>「退職給付に係る会計基準」の一部改正(その3)(企業会計基準第19号 平成20年7月31日)に伴い、当事業年度から同会計基準を適用しております。なお、同会計基準の適用に伴う退職給付債務の変動はないため、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響はありません。</p> |

[追加情報]

| 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) |
|---|---|
| <p>(退職給付制度の改訂)</p> <p>当社は、平成20年12月31日付で退職一時金制度から確定拠出金制度への移行を目的とした退職一時金制度の一部廃止ならびに平成21年 1月 1日付で適格退職年金制度から確定給付企業年金制度への移行を目的とした退職一時金・年金制度の改訂を行いました。当社は「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第 1号）を適用しております。本改廃に伴う影響額として、特別損失118百万円を計上しております。</p> <p>この結果、税引前当期純利益が、118百万円減少しております。</p> | |
| | <p>(耐用年数の変更)</p> <p>当社は、翌事業年度に導入予定のシステムにより置き換えられる現行のシステムの状況等を調査した結果、一部のシステム(ソフトウェア及び器具備品)について耐用年数が実態と乖離していることが判明したため、当該資産の耐用年数を実態に合わせて変更しております。</p> <p>この結果、従来の方法と比較して、減価償却費が284百万円増加し、経常利益及び税引前当期純利益は284百万円減少しております。</p> |
| | <p>(賞与制度の改定)</p> <p>従業員の賞与につきましては従来 6月及び12月の年 2回の支給であり、賞与引当金には計算期間が10月 1日から 3月末日までに対応する金額を計上していましたが、制度改定により年 1回の支給と変更となり、当事業年度末においては賞与引当金には計算期間が 4月 1日から 3月末日までに対応する金額を計上しております。</p> |

[注記事項]
貸借対照表関係

| 前事業年度末 (平成21年3月31日) | 当事業年度末 (平成22年3月31日) |
|--|--|
| 1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 | 1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 |
| 未払金 2,119百万円 | 未払金 1,655百万円 |
| 未払費用 585 | 未払費用 1,017 |
| 2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額 | 2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額 |
| 建物 295百万円 | 建物 369百万円 |
| 器具備品 964 | 器具備品 1,647 |
| 合計 1,260 | 合計 2,017 |

損益計算書関係

| 前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日) |
|---|---|
| 1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 | 1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 |
| 受取配当金 7,864百万円 | 受取配当金 3,542百万円 |
| 支払利息 175 | 支払利息 98 |
| 2. 役員報酬の範囲額 役員報酬は報酬委員会決議に基づき支給されております。 | 2. 役員報酬の範囲額 (同左) |
| 3. 固定資産除却損 | 3. 固定資産除却損 |
| 器具備品 0百万円 | 建物 7百万円 |
| ソフトウェア 405 | 器具備品 5 |
| | ソフトウェア 4 |
| 合計 405 | 合計 16 |

株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 前事業年度末株式数 | 当事業年度増加株式数 | 当事業年度減少株式数 | 当事業年度末株式数 |
|-------|------------|------------|------------|------------|
| 普通株式 | 5,150,693株 | - | - | 5,150,693株 |

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成20年 5月28日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 26,526百万円 |
| 1株当たり配当額 | 5,150円 |
| 基準日 | 平成20年 3月31日 |
| 効力発生日 | 平成20年 6月 2日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成21年 5月28日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 3,605百万円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 700円 |
| 基準日 | 平成21年 3月31日 |
| 効力発生日 | 平成21年 6月 1日 |

当事業年度(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 前事業年度末株式数 | 当事業年度増加株式数 | 当事業年度減少株式数 | 当事業年度末株式数 |
|-------|------------|------------|------------|------------|
| 普通株式 | 5,150,693株 | - | - | 5,150,693株 |

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成21年 5月28日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 3,605百万円 |
| 1株当たり配当額 | 700円 |
| 基準日 | 平成21年 3月31日 |
| 効力発生日 | 平成21年 6月 1日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成22年 5月27日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 3,605百万円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 700円 |
| 基準日 | 平成22年 3月31日 |
| 効力発生日 | 平成22年 6月 1日 |

リース取引関係

| 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---------|----------|------------|-----|------------|---|---------|-----|--|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|--------|--------|---------------|---|----------|-----|---------|----|------|---|--|--|------|---------|--------|------------|-----|------------|---|---------|-----|--|-----|------|----|-----|----|----|-----|--------|--------|---------------|---|----------|-----|---------|---|------|---|
| <p>1. ファイナンス・リース取引</p> <p>(1)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>リース資産の内容 有形固定資産(器具備品)、無形固定資産(ソフトウェア) 主として、コンピューター関連機器(サーバー等)であります。 リース資産の減価償却の方法 重要な会計方針の「4.固定資産の減価償却の方法」に記載したとおりであります。</p> <p>(2)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">器具備品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">1,343百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">980</td> </tr> <tr> <td>減損損失累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">期末残高相当額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">363</td> </tr> </tbody> </table> <p>未経過リース料期末残高相当額及びリース資産減損勘定期末残高</p> <p>未経過リース料期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">百万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年以内</td> <td style="text-align: right;">180</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">195</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">375</td> </tr> </tbody> </table> <p>リース資産減損勘定期末残高 - 百万円</p> <p>支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">296百万円</td> </tr> <tr> <td>リース資産減損勘定の取崩額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">276</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">14</td> </tr> <tr> <td>減損損失</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。</p> | | 器具備品 | 取得価額相当額 | 1,343百万円 | 減価償却累計額相当額 | 980 | 減損損失累計額相当額 | - | 期末残高相当額 | 363 | | 百万円 | 1年以内 | 180 | 1年超 | 195 | 合計 | 375 | 支払リース料 | 296百万円 | リース資産減損勘定の取崩額 | - | 減価償却費相当額 | 276 | 支払利息相当額 | 14 | 減損損失 | - | <p>1. ファイナンス・リース取引</p> <p>(1)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>該当事項はありません。</p> <p>(2)所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの)</p> <p>リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">器具備品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">603百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">415</td> </tr> <tr> <td>減損損失累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">期末残高相当額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">188</td> </tr> </tbody> </table> <p>未経過リース料期末残高相当額及びリース資産減損勘定期末残高</p> <p>未経過リース料期末残高相当額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">百万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年以内</td> <td style="text-align: right;">99</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">96</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">195</td> </tr> </tbody> </table> <p>リース資産減損勘定期末残高 - 百万円</p> <p>支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">187百万円</td> </tr> <tr> <td>リース資産減損勘定の取崩額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">175</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">7</td> </tr> <tr> <td>減損損失</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>減価償却費相当額の算定方法 (同左)</p> <p>利息相当額の算定方法 (同左)</p> | | 器具備品 | 取得価額相当額 | 603百万円 | 減価償却累計額相当額 | 415 | 減損損失累計額相当額 | - | 期末残高相当額 | 188 | | 百万円 | 1年以内 | 99 | 1年超 | 96 | 合計 | 195 | 支払リース料 | 187百万円 | リース資産減損勘定の取崩額 | - | 減価償却費相当額 | 175 | 支払利息相当額 | 7 | 減損損失 | - |
| | 器具備品 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取得価額相当額 | 1,343百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却累計額相当額 | 980 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減損損失累計額相当額 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 期末残高相当額 | 363 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年以内 | 180 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年超 | 195 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 375 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払リース料 | 296百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リース資産減損勘定の取崩額 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費相当額 | 276 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払利息相当額 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減損損失 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 器具備品 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取得価額相当額 | 603百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却累計額相当額 | 415 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減損損失累計額相当額 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 期末残高相当額 | 188 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年以内 | 99 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年超 | 96 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 195 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払リース料 | 187百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リース資産減損勘定の取崩額 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費相当額 | 175 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支払利息相当額 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減損損失 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 2. オペレーティング・リース取引 | | 2. オペレーティング・リース取引 | |
|-------------------|------|-------------------|------|
| 未経過リース料 | | 未経過リース料 | |
| 1年以内 | 6百万円 | 1年以内 | 5百万円 |
| 1年超 | 3 | 1年超 | 3 |
| 合計 | 9 | 合計 | 8 |

金融商品関係

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

（追加情報）

当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 平成20年3月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日）を適用しております。

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を投資有価証券として、あるいは特定金銭信託を通じ保有しております。直接または特定金銭信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社からの短期借入による方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

投資有価証券として、あるいは特定金銭信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物、スワップ取引などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成22年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|------------------|----------|---------|--------|
| (1)現金・預金 | 520 | 520 | - |
| (2)金銭の信託 | 38,530 | 38,530 | - |
| (3)短期貸付金 | 126 | 126 | - |
| (4)未収委託者報酬 | 9,756 | 9,756 | - |
| (5)有価証券及び投資有価証券 | | | |
| 其他有価証券 | 15,890 | 15,890 | - |
| (6)関係会社株式 | 3,064 | 92,414 | 89,350 |
| 資産計 | 67,888 | 157,238 | 89,350 |
| (7)関係会社短期借入金 | 11,000 | 11,000 | - |
| (8)未払金 | 6,217 | 6,217 | - |
| (9)未払費用 | 7,594 | 7,594 | - |
| (10)未払法人税等 | 849 | 849 | - |
| 負債計 | 25,662 | 25,662 | - |
| (11)デリバティブ取引 | | | |
| ヘッジ会計が適用されていないもの | - | - | - |
| ヘッジ会計が適用されているもの | 86 | 86 | - |
| デリバティブ取引計 | 86 | 86 | - |

(*) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(3)短期貸付金、(4)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価格、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

其他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、帳簿価額

によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(7) 関係会社短期借入金、(8) 未払金、(9) 未払費用、(10) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(11) デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

注2：非上場株式（貸借対照表計上額：投資有価証券824百万円、関係会社株式13,035百万円）は、市場価格がなく、かつキャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について70百万円減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|--------------|--------|-------------|--------------|------|
| 預金 | 519 | - | - | - |
| 金銭の信託 | 38,530 | - | - | - |
| 短期貸付金 | 126 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 9,756 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | 5,100 | 0 | 997 | - |
| 合計 | 54,032 | 0 | 997 | - |

有価証券関係

前事業年度（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）

1．売買目的有価証券(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券で時価のあるもの(平成21年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの(平成21年3月31日)

| 区分 | 貸借対照表 計上額 (百万円) | 時価 (百万円) | 差額 (百万円) |
|--------|-----------------------|-------------|-------------|
| 関連会社株式 | 3,064 | 66,382 | 63,318 |
| 合計 | 3,064 | 66,382 | 63,318 |

4. その他有価証券で時価のあるもの(平成21年3月31日)

| 区分 | 取得原価 (百万円) | 貸借対照表 計上額 (百万円) | 差額 (百万円) |
|----------------------|---------------|-----------------------|-------------|
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | | | |
| (1)株式 | 282 | 4,020 | 3,737 |
| (2)債券(社債) | - | - | - |
| (3)その他(1) | 3,551 | 3,846 | 295 |
| 小計 | 3,834 | 7,867 | 4,032 |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | | | |
| (1)株式 | - | - | - |
| (2)債券(社債) | - | - | - |
| (3)その他 | 2,334 | 1,833 | 500 |
| 小計 | 2,334 | 1,833 | 500 |
| 合計 | 6,168 | 9,701 | 3,532 |

- (1) 当事業年度末において、投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジするための為替予約取引及び株価指数先物取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は249百万円（税効果会計適用後）であり、貸借対照表に計上しております。

5. 当事業年度中に売却したその他有価証券

| 区分 | 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日 |
|---------|-----------------------------|
| 売却額 | 11,200百万円 |
| 売却益の合計額 | 1,085百万円 |
| 売却損の合計額 | 1,471百万円 |

6. 時価評価されていない主な有価証券(上記2.及び3.を除く)

| 区分 | 貸借対照表計上額(百万円) |
|-------------------|---------------|
| (1) その他有価証券 | |
| 譲渡性預金 | 3,400 |
| 非上場株式 | 992 |
| 合計 | 4,392 |
| (2) 子会社株式及び関連会社株式 | |
| 子会社株式 | 4,411 |
| 関連会社株式 | 8,267 |
| 合計 | 12,679 |

7. その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券の今後の償還予定額

(平成21年3月31日)

| | 1年以内 (百万円) | 1年超5年以内 (百万円) | 5年超10年以内 (百万円) | 10年超 (百万円) |
|-------------|---------------|------------------|-------------------|---------------|
| 1. 債券 | | | | |
| (1) 国債・地方債等 | - | - | - | - |
| (2) 社債 | - | - | - | - |
| (3) その他 | - | - | - | - |
| 2. その他 | 3,400 | 1 | 1,017 | - |
| 合計 | 3,400 | 1 | 1,017 | - |

(注) その他有価証券で時価のあるものについての減損処理にあたっては、当事業年度末時価が取得価額より30%以上下落したものについて、原則として下落額について評価減を行なうこととしております。

当事業年度（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）

1. 売買目的有価証券(平成22年3月31日)

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券(平成22年3月31日)

該当事項はありません。

3. 子会社株式及び関連会社株式(平成22年3月31日)

| 区分 | 貸借対照表 計上額 (百万円) | 時価 (百万円) | 差額 (百万円) |
|--------|-----------------------|-------------|-------------|
| 関連会社株式 | 3,064 | 92,414 | 89,350 |
| 合計 | 3,064 | 92,414 | 89,350 |

4. その他有価証券(平成22年3月31日)

| 区分 | 貸借対照表 計上額 (百万円) | 取得原価 (百万円) | 差額 (百万円) |
|----------------------|-----------------------|---------------|-------------|
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | | | |
| 株式 | 5,656 | 282 | 5,373 |
| 投資信託(1) | 3,103 | 3,001 | 102 |
| 小計 | 8,759 | 3,283 | 5,475 |
| 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | | | |
| 株式 | - | - | - |
| 投資信託 | 2,031 | 2,326 | 295 |
| 譲渡性預金 | 5,100 | 5,100 | - |
| 小計 | 7,131 | 7,426 | 295 |
| 合計 | 15,890 | 10,710 | 5,179 |

- (1) 当事業年度末において、投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジするための為替予約取引及び株価指数先物取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は175百万円（税効果会計適用後）であり、貸借対照表に計上しております。

5. 事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

| 区分 | 売却額(百万円) | 売却益の合計額(百万円) | 売却損の合計額(百万円) |
|------|----------|--------------|--------------|
| 株式 | 38 | - | 60 |
| 投資信託 | 626 | 72 | 0 |
| 合計 | 664 | 72 | 60 |

デリバティブ取引関係

前事業年度（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）

1. 取引の状況に関する事項

(1) 取引の内容及び利用目的

当社が利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引、株価指数先物取引及びスワップ取引であり、当社が保有する投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクを軽減するために利用しております。

なお、デリバティブ取引を利用して、ヘッジ会計を行っております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 - 為替予約、株価指数先物

ヘッジ対象 - 投資有価証券

ヘッジ方針

投資有価証券に係る為替変動リスク及び価格変動リスクをヘッジしております。

ヘッジ有効性評価の方法

為替変動リスク及び価格変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。

(2) 取引に対する取組方針

デリバティブ取引については、将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

(3) 取引に係るリスクの内容

為替予約取引は為替相場の変動によるリスクを、株価指数先物取引及びスワップ取引は価格の変動によるリスクを有しております。

(4) 取引に係るリスク管理体制

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部で行っております。財務部長は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。また、取引結果及び損益状況については、定期的にヘッジ対象である投資有価証券の信託契約先から報告を受け、財務部で内容を検討しております。

2. 取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

なお、為替予約取引及び株価指数先物取引を行っておりますが、いずれもヘッジ会計を適用しておりますので注記の対象から除いております。

当事業年度（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

(単位：百万円)

| ヘッジ会計の方法 | デリバティブ取引の種類等 | 主なヘッジ対象 | 契約額等 | 契約額のうち1年超 | 時価 | 当該時価の算定方法 |
|----------|--------------|---------|-------|-----------|----|--------------|
| 原則的処理方法 | 為替予約取引 | 投資信託 | 3,082 | - | 17 | 先物為替相場によっている |
| 合 計 | | | 3,082 | - | 17 | |

(2) 株式関連

(単位：百万円)

| ヘッジ会計の方法 | デリバティブ取引の種類等 | 主なヘッジ対象 | 契約額等 | 契約額のうち1年超 | 時価 | 当該時価の算定方法 |
|----------|--------------|---------|------|-----------|----|--------------|
| 原則的処理方法 | 株価指数先物取引 | 投資信託 | 967 | - | 68 | 取引所の価格によっている |
| 合 計 | | | 967 | - | 68 | |

退職給付関係

| 前事業年度(自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | |
|--|---|
| 1. 採用している退職給付制度の概要 | |
| <p>当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。</p> <p>当社は、平成20年12月31日付で退職一時金制度から確定拠出年金制度への移行を目的とした退職一時金制度の一部廃止ならびに平成21年 1月 1日付で適格退職年金制度から確定給付型企业年金制度への移行を目的とした退職一時金・年金制度の改訂を行いました。</p> | |
| 2. 退職給付債務に関する事項(平成21年 3月31日) | |
| イ. 退職給付債務 | 11,783百万円 |
| ロ. 年金資産 | 5,456 |
| ハ. 未積立退職給付債務(イ+ロ) | 6,327 |
| ニ. 会計基準変更時差異の未処理額 | |
| ホ. 未認識数理計算上の差異 | 2,400 |
| ヘ. 未認識過去勤務債務(債務の増額) | 693 |
| ト. 貸借対照表計上額純額(ハ+ニ+ホ+ヘ) | 4,620 |
| チ. 前払年金費用 | |
| リ. 退職給付引当金(ト-チ) | 4,620 |
| 3. 退職給付費用に関する事項(自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | |
| イ. 勤務費用 | 611百万円 |
| ロ. 利息費用 | 277 |
| ハ. 期待運用収益 | 139 |
| ニ. 会計基準変更時差異の費用処理額 | |
| ホ. 数理計算上の差異の費用処理額 | 300 |
| ヘ. 過去勤務債務の費用処理額 | 3 |
| ト. 退職給付費用(イ+ロ+ハ+ニ+ホ+ヘ) | 1,053 |
| チ. その他(注) | 70 |
| 計 | 1,124 |
| (注) 確定拠出年金への掛金支払額であります。 | |
| 4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 | |
| イ. 退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 |
| ロ. 割引率 | 2.1% |
| ハ. 期待運用収益率 | 2.5% |
| ニ. 過去勤務債務の額の処理年数 | 16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、費用処理することとしております。) |
| ホ. 数理計算上の差異の処理年数 | (1) 退職一時金に係るもの 1年(発生時の翌期に費用処理することとしております。) (2) 退職年金に係るもの 16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌期から費用処理することとしております。) |
| ヘ. 会計基準変更時差異の処理年数 | 該当はありません。 |
| (追加情報) | |
| <p>基準となる従業員の平均残存勤務期間が減少したことにより、過去勤務債務の額の処理年数および退職年金に係る数理計算上の差異の処理年数を18年から16年に変更しております。この変更に伴う影響額は軽微であります。</p> | |

当事業年度(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 退職給付債務に関する事項(平成22年 3月31日)

| | |
|------------------------------|-----------|
| イ. 退職給付債務 | 12,427百万円 |
| ロ. 年金資産 | 6,488 |
| ハ. 未積立退職給付債務(イ + ロ) | 5,938 |
| ニ. 会計基準変更時差異の未処理額 | |
| ホ. 未認識数理計算上の差異 | 2,015 |
| ヘ. 未認識過去勤務債務(債務の増額) | 653 |
| ト. 貸借対照表計上額純額(ハ + ニ + ホ + ヘ) | 4,576 |
| チ. 前払年金費用 | |
| リ. 退職給付引当金(ト - チ) | 4,576 |

3. 退職給付費用に関する事項(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)

| | |
|----------------------------------|--------|
| イ. 勤務費用 | 524百万円 |
| ロ. 利息費用 | 247 |
| ハ. 期待運用収益 | 136 |
| ニ. 会計基準変更時差異の費用処理額 | |
| ホ. 数理計算上の差異の費用処理額 | 357 |
| ヘ. 過去勤務債務の費用処理額 | 40 |
| ト. 退職給付費用(イ + ロ + ハ + ニ + ホ + ヘ) | 952 |
| チ. その他(注) | 163 |
| 計 | 1,116 |

(注) 確定拠出年金への掛金支払額であります。

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

| | |
|-------------------|---|
| イ. 退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 |
| ロ. 割引率 | 2.1% |
| ハ. 期待運用収益率 | 2.5% |
| ニ. 過去勤務債務の額の処理年数 | 16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、費用処理することとしております。) |
| ホ. 数理計算上の差異の処理年数 | (1) 退職一時金に係るもの 1年(発生時の翌期に費用処理することとしております。) (2) 退職年金に係るもの 16年(発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌期から費用処理することとしております。) |
| ヘ. 会計基準変更時差異の処理年数 | 該当はありません。 |

税効果会計関係

| 前事業年度末 (平成21年3月31日) | 当事業年度末 (平成22年3月31日) |
|--|--|
| 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別の内訳 | 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別の内訳 |
| 繰延税金資産 百万円 | 繰延税金資産 百万円 |
| 退職給付引当金 1,894 | 退職給付引当金 1,876 |
| 所有株式税務簿価通算差異 884 | 賞与引当金 1,040 |
| 投資有価証券評価減 616 | 所有株式税務簿価通算差異 884 |
| ゴルフ会員権評価減 510 | 投資有価証券評価減 614 |
| 賞与引当金 442 | ゴルフ会員権評価減 510 |
| 未払確定拠出年金掛金 328 | 減価償却超過額 369 |
| タックスヘイブン税制 271 | 未払確定拠出年金掛金 217 |
| 減価償却超過額 262 | 子会社株式売却損 196 |
| 子会社株式売却損 196 | 時効後支払損引当金 194 |
| 時効後支払損引当金 189 | その他 268 |
| その他 85 | 繰延税金資産小計 6,173 |
| 繰延税金資産小計 5,682 | 評価性引当金 1,923 |
| 評価性引当金 1,924 | 繰延税金資産計 4,250 |
| 繰延税金資産計 3,757 | 繰延税金負債 |
| 繰延税金負債 | 繰延ヘッジ利益 122 |
| 繰延ヘッジ利益 173 | 有価証券評価差額金 2,123 |
| 有価証券評価差額金 1,448 | 繰延税金負債計 2,245 |
| 繰延税金負債計 1,621 | 繰延税金資産(純額) 2,004 |
| 繰延税金資産(純額) 2,136 | |
| 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 | 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 |
| 法定実効税率 41.0% | 法定実効税率 41.0% |
| (調整) | (調整) |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 0.6% | 交際費等永久に損金に算入されない項目 1.4% |
| 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 7.0% | 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 9.2% |
| 住民税等均等割 0.0% | 住民税等均等割 0.0% |
| タックスヘイブン税制 0.1% | タックスヘイブン税制 3.5% |
| 外国税額控除 5.9% | 外国税額控除 2.4% |
| 評価性引当金の増減額 16.2% | その他 0.3% |
| その他 0.7% | 税効果会計適用後の法人税等の負担率 27.0% |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 44.1% | |

関連当事者情報

前事業年度(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(追加情報)

当事業年度から平成18年10月17日公表の、「関連当事者の開示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第11号）及び「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準第13号）を適用しております。

なお、開示対象範囲に影響はありません。

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|-----|----------------|--------|--------------|---------------|---------------------|-----------|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 親会社 | 野村ホールディングス株式会社 | 東京都中央区 | 321,764 | 持株会社 | (被所有) 直接 100% | 資産の賃貸借等 | 資金の借入(*1) | 228,500 | 関係会社 短期借入金 | 12,000 |
| | | | | | | | 資金の返済 | 216,500 | | |
| | | | | | | | 借入金利息の支払 | 168 | 未払費用 | 1 |

(イ) 関連会社等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|------|-------------|---------|--------------|---------------|---------------------|------------|----------------------|---------------|------|---------------|
| 関連会社 | 株式会社野村総合研究所 | 東京都千代田区 | 18,600 | 情報サービス業 | (所有) 直接 22.3% | サービス・製品の購入 | 自社利用のソフトウェア開発の委託(*2) | 10,001 | 未払費用 | 79 |

(ウ) 兄弟会社等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|---------|------------|--------|--------------|---------------|--------------------|--|-----------------------|---------------|-------|---------------|
| 親会社の子会社 | 野村証券株式会社 | 東京都中央区 | 10,000 | 証券業 | | 当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払(*3) | 28,694 | 未払手数料 | 2,628 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|----------------------------|---------|-----|-------|--|-------------|------------------------|-------|------|-------|
| 親会社の子会社 | 野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社 | 東京都千代田区 | 400 | 投資顧問業 | | 当社投資信託の運用委託 | 投資信託の運用に係る投資顧問料の支払（*4） | 4,926 | 未払費用 | 1,064 |
|---------|----------------------------|---------|-----|-------|--|-------------|------------------------|-------|------|-------|

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(*4) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス(株) (東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は(株)野村総合研究所及び野村土地建物(株)であり、その要約財務諸表は以下のとおりであります。

| | (百万円) | |
|----------|------------|-----------|
| | (株)野村総合研究所 | 野村土地建物(株) |
| 流動資産合計 | 106,717 | 1,407 |
| 固定資産合計 | 234,028 | 77,297 |
| 流動負債合計 | 76,798 | 7,947 |
| 固定負債合計 | 79,131 | 11,845 |
| 純資産合計 | 184,815 | 58,910 |
| 売上高 | 324,697 | 2,744 |
| 税引前当期純利益 | 38,648 | 2,947 |
| 当期純利益 | 20,583 | 2,564 |

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|-----|----------------|--------|--------------|---------------|---------------------|------------------|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 親会社 | 野村ホールディングス株式会社 | 東京都中央区 | 594,492 | 持株会社 | (被所有) 直接 100% | 資産の賃貸借等 役員の兼任 | 資金の借入(*1) | 168,000 | 関係会社 短期借入金 | 11,000 |
| | | | | | | | 資金の返済 | 169,000 | | |
| | | | | | | | 借入金利息の支払 | 98 | 未払費用 | 3 |

(イ) 関連会社等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|------|-------------|---------|--------------|---------------|---------------------|------------|----------------------|---------------|------|---------------|
| 関連会社 | 株式会社野村総合研究所 | 東京都千代田区 | 18,600 | 情報サービス業 | (所有) 直接 22.3% | サービス・製品の購入 | 自社利用のソフトウェア開発の委託(*2) | 6,866 | 未払費用 | 0 |

(ウ) 兄弟会社等

| 種類 | 会社等の名称又は氏名 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の内容 又は職業 | 議決権等の所有 (被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) | 科目 | 期末残高 (百万円) |
|---------|----------------------------|--------|--------------|---------------|--------------------|---|------------------------|----------------|-------|---------------|
| 親会社の子会社 | 野村證券株式会社 | 東京都中央区 | 10,000 | 証券業 | | 当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払(*3) | 26,417 (注)3 | 未払手数料 | 3,469 |
| 親会社の子会社 | 野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社 | 東京都中央区 | 400 | 投資顧問業 | | 当社投資信託の運用委託 役員の兼任 | 投資信託の運用に係る投資顧問料の支払(*4) | 3,263 | 未払費用 | 940 |

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(*4) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

3. 平成21年11月23日付で野村証券(株)はジョインベスト証券(株)を吸収合併しており、当社とジョインベスト証券(株)の取引は野村証券(株)に引継がれております。野村証券(株)との取引金額には、合併前のジョインベスト証券(株)と当社の取引金額を含んでおります。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス(株)（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は(株)野村総合研究所及び野村土地建物(株)であり、その要約財務諸表は以下のとおりであります。

| | (株)野村総合研究所 | 野村土地建物(株) |
|----------|------------|-----------|
| | | (百万円) |
| 流動資産合計 | 128,800 | 5,765 |
| 固定資産合計 | 228,173 | 78,723 |
| 流動負債合計 | 76,471 | 8,010 |
| 固定負債合計 | 76,265 | 12,507 |
| 純資産合計 | 204,237 | 63,970 |
| 売上高 | 325,646 | 2,546 |
| 税引前当期純利益 | 40,539 | 4,841 |
| 当期純利益 | 26,416 | 4,445 |

1 株当たり情報

| 前事業年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日) | | 当事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日) | |
|---|------------|---|------------|
| 1株当たり純資産額 | 12,453円43銭 | 1株当たり純資産額 | 13,067円44銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 1,285円61銭 | 1株当たり当期純利益 | 1,139円63銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | |
| 1株当たり当期純利益の算定上の基礎 | | 1株当たり当期純利益の算定上の基礎 | |
| 損益計算書上の当期純利益 | 6,621百万円 | 損益計算書上の当期純利益 | 5,869百万円 |
| 普通株式に係る当期純利益 | 6,621百万円 | 普通株式に係る当期純利益 | 5,869百万円 |
| 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 | | 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 | |
| 普通株式の期中平均株式数 | 5,150,693株 | 普通株式の期中平均株式数 | 5,150,693株 |

独立監査人の監査報告書

平成21年6月22日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第50期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成21年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の監査報告書

平成22年6月21日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志 保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第51期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成22年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の中間監査報告書

平成21年6月19日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているリサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）の平成20年10月31日から平成21年4月30日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、リサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）の平成21年4月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成20年10月31日から平成21年4月30日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成22年6月18日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 英 公 一指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 志保

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているリサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）の平成21年10月31日から平成22年4月30日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、リサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）の平成22年4月30日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年10月31日から平成22年4月30日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 中間財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)